

73年前に欧州から移入の高級食用カキ類が岩手県沿岸に生息確認

一県と水産関係者が連携して調査研究、水産利用模索一

概要

ヨーロッパヒラガキは、欧州原産の食用カキ類です。岩手県水産技術センターの寺本沙也加専門研究員、小林俊将増養殖部長、公益財団法人岩手生物工学研究センターの阿部陽主席研究員の研究グループは、貝殻形態の観察及び遺伝子の解析によって岩手県山田湾から見つかったカキ類が「ヨーロッパヒラガキ」（以下ヒラガキ）であることを確認し、本種が国内に定着していることを明らかにしました。

ヒラガキは、1952年に水産増養殖目的でオランダから日本に人為的に持ち込まれました。それ以降、北海道、青森県、岩手県、宮城県の複数海域に移入されて養殖試験が行われましたが、当時は市場性や市場価値が低かったことから、その多くが2000年代初旬頃までに終了しました。系統保存のために継代されていた母貝も2011年の東北地方太平洋沖地震に伴う津波により流失したため、本種は国内から消滅したと考えられていました。しかし、本研究によりヒラガキは人知れず生き残り、少なくとも岩手県沿岸において再生産していることが明らかになりました。これは国外から意図的に移入されたカキ類が天然海域に定着した事例としては国内初事例になると考えられます。

本研究では、岩手県内24漁業協同組合をはじめとする水産関係者に協力を依頼し、多くの方からアンケート調査協力、各種情報提供、サンプル提供などの多大なるご理解とご協力を賜りました。文献調査及び皆様からいただいた情報を精査することで、70年以上に及ぶ本種の国内での分散過程と近年の定着状況について総括しました。本研究は、本種の分布拡大や資源管理に関して重要な知見を提供するとともに、国内におけるヒラガキ研究の端緒となることが期待されます。

本研究成果は、2024年5月31日に日本貝類学会が刊行する国際学術誌 *Venus (Journal of the Malacological Society of Japan)* にオンラインで掲載されました。

1. 背景

昨年4月、論文筆頭著者の寺本がSNSで、種が不明のカキ類の写真を見つけました。これは山田湾でマガキ養殖を行う漁業者が撮影したもので、近年増えている美味しい食用種であることが分かりました。漁業者から、この不明なカキの正体を調べてほしいとの要望を受け研究を開始しました。

2. 研究手法・成果

岩手県山田湾から得られた10個体のカキ類について、貝殻形態の観察及びDNAバーコーディングによる比較の結果から、全てヒラガキであると結論付けられました。また、国内での人為的な移出入過程を明らかにするために文献調査を行うとともに、当時、主な移入先で種苗生産や養殖試験に関係した8名の技術者に聞き取り調査を実施しました。加えて、県内24の漁業協同組合を対象としたアンケート調査を実施し、合計61名から情報提供がありました。本研究により、国内においてヒラガキは少なくとも1道3県29箇所に移入されたことが確認されました。岩手県では、2024年5月時点で、宮古湾・山田湾・

大槌湾・越喜来湾・大船渡湾・門之浜湾・広田湾の7湾で生息していることが確認されました。ここで注目すべきは、過去に人為的移入が確認できない海域でもヒラガキが生息しているということです。これは東北太平洋沿岸各地へ分布拡大が進んでいることが示唆されます。

3. 波及効果、今後の予定

これまで日本において野外での定着は不明とされ、天然海域での分布拡大の可能性は低いと考えられてきたヒラガキの長年の定説を覆す研究結果を提示することで、国内におけるヒラガキ研究の発展に寄与することが期待されます。

また、本種は、世界的に水産有用種として知られていることから、その利用について注目されることが予想されます。今後、基礎情報としての分布把握に努め、周辺海域におけるモニタリングを強化するとともに、新規養殖対象種として水産利用することを検討しています。昨年度、予備的に行った種苗生産試験で少数であるものの種苗を作出することに成功しており、今年度は規模を拡大して種苗生産試験に取り組んでいます。

4. 研究プロジェクト

岩手県水産技術センターと公益財団法人生物工学研究センターとの公設試験研究機関連携による共同研究で行われました。

5 本件に関する問い合わせ先

岩手県水産技術センター 増養殖部 部長 小林 俊将 電話 0193-26-7917

<論文タイトルと著者>

タイトル：東北太平洋沿岸におけるヨーロッパヒラガキ（軟体動物門：二枚貝綱：イタボガキ科）の移入と定着状況について—The Status of the Introduction and Establishment of the European Flat Oyster, *Ostrea edulis* (Mollusca: Bivalvia: Ostreidae), on the Pacific Coast of Northeastern Japan

著者：寺本 沙也加, 阿部 陽, 小林 俊将

掲載誌：Venus (Journal of the Malacological Society of Japan)

DOI : https://doi.org/10.18941/venus.82.1-4_133